

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 7 月 3 日(2023.7.3)

【公開番号】 特開 2022-169689(P2022-169689A)
【公開日】 令和 4 年 11 月 9 日(2022.11.9)
【年通号数】 公開公報(特許)2022-206
【出願番号】 特願 2022-132927(P2022-132927)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 6 月 23 日(2023.6.23)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

遊技領域が形成された遊技盤と、
前記遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な始動口と、
前記始動口への遊技球の入球を契機として当否判定を実行する当否判定手段とを備え、
前記遊技領域として、前記装飾部材の左側に位置する第 1 遊技領域と、前記装飾部材の右側に位置する第 2 遊技領域とを有し、
前記遊技領域には、遊技球の流下方向を変化せしめることが可能な盤面構成部材として、複数の遊技釘と、前記遊技釘とは異なる複数の障害部材とが設けられ、
前記第 1 遊技領域の上流側に設けられる前記障害部材と前記第 1 遊技領域の下流側に設けられる前記障害部材とは互いに異なる形状に形成され、
前記第 1 遊技領域に設けられる複数の前記障害部材のうち、前記第 1 遊技領域の上流側に設けられる前記障害部材は左斜め下方に延出し、前記第 1 遊技領域の下流側に設けられる前記障害部材は略上下方向に延出していることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0007
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0007】

40

このような目的達成のために、本発明に係る遊技機は、遊技領域が形成された遊技盤と、前記遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な始動口と、前記始動口への遊技球の入球を契機として当否判定を実行する当否判定手段とを備え、前記遊技領域として、前記装飾部材の左側に位置する第 1 遊技領域と、前記装飾部材の右側に位置する第 2 遊技領域とを有し、前記遊技領域には、遊技球の流下方向を変化せしめることが可能な盤面構成部材として、複数の遊技釘と、前記遊技釘とは異なる複数の障害部材とが設けられ、前記第 1 遊技領域の上流側に設けられる前記障害部材と前記第 1 遊技領域の下流側に設けられる前記障害部材とは互いに異なる形状に形成され、前記第 1 遊技領域に設けられる複数の前記障害部材のうち、前記第 1 遊技領域の上流側に設けられる前記障害部材は左斜め下方に延出し、前記第 1 遊技領域の下流側に設けられる前記障害部材は略上下方向に延出しているこ

50

とを特徴とする。

10

20

30

40

50